

測量部 祝 日本一!

佐総農業クラブ新聞

「農業高校の甲子園」 平板測量競技で初の最優秀賞

「農業高校の甲子園」と呼ばれる日本学校農業クラブ全国大会(24日、熊本県)で、測量部が平板測量競技で初の最優秀賞に輝いた。測量競技は土地の形状を測定して作図し、誤差の少なさを競う。測量部のメンバーは、部長の窪田亜里沙さん(令和4年度農業クラブ

会長)、及川深雪さん、岩下幸穂さんの3人で、1年次は出場、2年次は優秀賞、そして3年連続となる今大会では、念願の最優秀賞(文部科学大臣賞、国土地理院長賞)を獲得した。また、農業鑑定競技では、

2年の櫻井春華さんが「園芸」、2年の鈴木萌望子さんが「食品」、3年の中屋大晟さんと2年の細谷華鈴さんが「畜産」の各部門に出場し、それぞれ優秀賞を受賞。家畜審査競技科用牛の部では、1年の櫻井沙凪さんが優秀賞になった。



農業クラブ会長
佐藤陸翔

編集委員
俣平流楓、栗林舞千花

農業経営部 食品加工部

全国の舞台上で堂々発表

プロジェクト発表では、分野一類で農業経営部(植物工場で薬用ニンジン育てるための基礎研究)、分野二類に食品加工部(食品ロス削減に係る活動)が出場した。両部とも8月に福井県で行なわれた北信越ブロック大会に長野県代表として出場。同大会各分野でそれぞれ最優秀賞を受賞し、北信越代表としての全国大会出場だった。農業経営部は初の全国の舞台。食品加工部は兵庫大会(優秀賞)以来二度目の出場。日頃のプロジェクト活動の成果を発表した。



オリジナルラーメン開発 ぞっこん! さく市にて提供

科目「課題研究」の取り組みとして、米粉の普及に取り組み食品開発コースのメンバーが、麵匠佐蔵とコラボし、ミーゼン料理コンテストで優勝したラーメンを披露した。

